

持続可能な社会を目指して

工藤建設株式会社 代表取締役社長 蜂谷剛司
 〒023-0841 岩手県奥州市水沢真城字北館 38 番地 1
 TEL 0197-23-4642 <https://www.ecokudo.com/>

環境や社会情勢が刻々と変化するなか
 地方の中小建設会社が地域に必要とされ続けるためには
 人も街も会社も**持続可能**でなければならない

そう考える私たちは“**Constructing Our Future**”を理念に掲げ、**i-Construction** などの先端技術をいち早く取り入れるとともに、自然との共生のための自然エネルギー利用技術を磨き、持続可能な環境と社会の構築を目指しています。

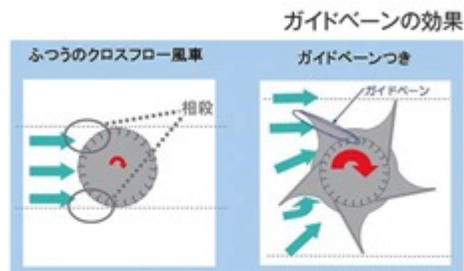
自然エネルギー活用事例 ・ : マイクロ風力発電機の開発・販売



設置事例

市街地における無指向性の風の力を利用するために、静穏性に優れた縦軸タイプのマイクロ風力発電機《**WindRoad**》を開発しました。従来型のクロスフロー風車に独自のガイドベーンを取り付けることにより、どの方向から風が吹いても効率的に発電できるようになるほか、導風量の増大も図れるため、発電効率が従来の3倍になり、市街地の比較的弱い風でも高い発電量が得られます。また、

ソーラーパネルと組み合わせることで、無風や無日照による発電不足を補い合うハイブリッドタイプの独立型照明灯として利用できる仕様となっています。岩手県内を中心にこれまでも多数の採用実績があり、時計塔モニュメントとしても採用事例があります。



自然エネルギー活用事例 ・ : 世界レベルのパッシブ型省エネ住宅の設計・販売



これまで培ってきた様々な自然エネルギー利用技術を導入して住宅の省エネを図る目的で設計されたのが、《**適な家**》です。ベースとしたのは環境先進国ドイツで普及してきた「**パッシブハウス**」でした。「パッシブハウス」はドイツのパッシブハウス研究所が規定する3つの性能基準（暖房需要/気密性/エネルギー消費量）をクリアする認定住宅です。断熱性能を飛躍的に高め、極力設備に依存せずに太陽の日射熱や人体からの発熱、調理の熱などを暖房に利用することで、低エネルギーで快適な暮らしが可能となる住宅です。《**適な家**》はこのパッシブハウス基準をクリアしつつ、自然エネルギー利用によって住宅の正味のエネルギー消費量をゼロ以下にした“**プラスエネルギーハウス**”で、岩手のような寒冷地の真冬でも1日に薪ストーブの薪たった4本程度で家全体をあたためられる仕様になっています。

